

平成 28 年度

一級建築士設計製図試験

合格マニュアル

Ver.2016071001

製図試験.com

①はじめに

合格マニュアルという存在。

製図試験.comの合格マニュアルをダウンロードしていただきありがとうございます。

一級建築士設計製図試験（以下試験）に合格するためのマニュアルが存在しえるのか？それが、そもそも製図試験.comの前身であった「学科製図.com」での課題でした。しかし、とある大学受験予備校の校長から、「東大に入るための受験マニュアルはもう既に完成している」という話を伺う機会があり、この試験にもそれが当てはまるのではないかと漫然と考え出したのが、そのスタートラインです。

合格のための5つのステップ

この試験に合格するためには、次の5つのステップが不可欠です。

- ① 合格することから逆算すること（戦略）
- ② 試験を知る（目標の設定）
- ③ 自身を知る（現状の把握）
- ④ 学習スケジュールを立ててこなす（戦術）
- ⑤ 試験当日、最大のパフォーマンスを発揮する（本番対応）

最適解を見つけて合格すること

この5つのステップを踏み、かつ必要な学習をこなした者が最も合格に近いわけですが、この合格マニュアルでは、そのために必要な学習教材に関して解説していますが、弊社のテキストや通信添削コースを採用せよ、ということではありません。

全て読んでいただいてから、製図試験.comでやってみようと思っていただければ光栄ですが、このマニュアルでの論考を参考に、資格学校や様々な通信添削サイトやテキストを使ってもらっていいと思います。最も重要なのは、あなたが最適な方法を見つけて合格することです。

製図試験.comのご利用方法

後に掲載している資料のところでも、製図試験.comのご利用方法・導入方法について掲載していますが、初めての方は以下の手順でお考えいただければよいかと思います。

- ①まず7月の説明会もしくはその動画解説を参考にする
 - ②よさそうであれば、・オープン課題となる第1課題をDLしてやってみる ・講習会に参加する
 - ③通信添削コースに申し込み、ペースメーカー・主教材として利用する
- というステップアップが可能です。もちろん、最初から通信添削コースをお申し込みいただいてもかまいません。

このマニュアルを申し込んでいただいた方には、別途「合格指南一問一答」のメール配信も行います。途中からお申し込みの方は是非バックナンバーをご参照ください。

では、合格のための5つのステップをご覧ください。

① 合格することから逆算する（戦略）

「実践すれば合格できる」ことを最初に理解すること

このマニュアルを読破したら、何を実践すれば、この試験に合格できるか、そのアウトラインが理解できると思います。大切なのは、最初にその全体像をイメージすることです。合格することから逆算するには、このことが最も重要です。例えば、コース料理を食べる際に、最初に全体構成のメニューがある場合は、どの程度、食べていけばよいかわかりますが、メニューが提示されてないコースだと、一体次に何が出てくるのか、もう出てこないのかわかりません。わからないまま、ひたすら一生懸命食べているのもあまり楽しくない話です。合格から逆算するというのは、その全体像、全体構成のメニューがあるのだということをまず理解すること、それをつかむためにアンテナを張ることを心に留めておくこと、そして、そういう情報戦と心理戦の上に試験は成り立っているということを知ること、それが大切です。これがわかってしまえば、そのメニュー（学習のためのロードマップともいふべきか）を手に入れて、それをこなしていけばよいということが合格に直結するのだと確信できるはずです。

試験という名のゲーム

そもそもあなたの建築的な実力をたった2枚の答案用紙で全て計りうることは無理があります。たった6時間半であなたの能力を計るということには、実は「ゲーム性」があるわけです。世の中にある試験という試験は、この製図試験に限らず、全てそういうゲーム理論でできています。

ゲームという定義は様々あるのですが、製図試験.comでは、ある一定のルールに基づいて、能力の可否（製図試験では、一級建築士たり得るかどうかが）問われるシミュレーションだと定義づけています。試験というゲームが成立するためには、「ある一定のルール」の上で「能力の可否」を「シミュレーション」して競うことが前提となっているわけです。

試験には意図がある

また、試験には意図があります。例えば、野球選手を選抜するトライアウトの一次試験では、遠投、100m走等があります。遠投は、どれだけ遠くまでボールを投げる力があるのか、100m走は、どれだけ速く走ることができるのか、を問うています。当たり前ですが、基準階が出題されている場合、何を問うているのでしょうか。2室分割できる室が出題された場合、何を問うているのでしょうか。景観のよい敷地が出題された場合、何が問われているのでしょうか。もちろん、わかりますよね？ 試験である以上、出題には、必ずそれができる受験生はこうできるはず、それができない受験生は、こんな風に反応するはず、という想定があります。なければゲームとして成立しません。聞いてみただけ、なんて問題は時間の無駄です。しかし、その意図を理解せずに回答すると、どうしても当たったり、当たらなかったりする可能性が高まってしまいます。逆に意図を理解しておく、回答する際のプレは最小限に抑えられるはずです。

理解することと使えることの差を埋めること

実践すれば合格できるロードマップの存在を理解し、試験というゲームを理解し、そのゲームたる所以である意図があることを理解するだけで、あなたは今までの状態より確実に合格に近づきます。しかし、「理解すること≠使えること」ではありません。理解できたら、使えるようになるまで、練習を積むことです。ここには近道はありません。ただやる。やれば力が付きます。この両者の差を埋めることがトレーニングであり、それをいかに効率的に行うかを常に考えて実践することが合格する秘訣です。

② 試験を知る（目標の設定）

製図試験の一般性と特異性

試験である以上、「ある一定のルール」の上で「能力の可否」を「シミュレーション」して競うというのが、試験の一般性なのですが、この製図試験には、非常に特異な点があります。ここは理解して読み間違えないようにしないと、目標の設定ができません。大きくは以下の3点です。

① 建築の設計に必要な知識と技能を問う試験であること

当たり前のように思われるかもしれませんが、あなたには、何が「建築の設計に必要な知識と技能」なのかわかるでしょうか。

製図試験.com では、これらを**細分化して分析的に学習**する方法をとります。→**細分化して分析**

② 不合格にするしくみ

この試験は、あなたを合格させるため（ピックアップ型）ではなく、あなたを不合格にするため（足切り型）に行われていると言われていま
す。「**不合格にならない答えは、合格にせざるを得ない**」という論理構造ですから、**徹底的に不合格対策**を取るべきです。これは、そう考
えておく、ということではなく、思考回路を試験用に作り替えておくことが重要です。→**減点法思考回路**

③ 制限時間というプレッシャー

6時間30分という非常に長丁場の間に、A2の図面と、1000文字程度の文章（計画の要点）を完成させるという試験です。ひたすら
手を動かして書き続けなければならないプレッシャーに対して、**強いメンタルが必要**です。これは、日々是精進とし
て、自分自身のメンタルの鍛錬によって、合格するセルフイメージを作り上げることが不可欠です →**合格するセルフイメージ作り**

出題は建築物を設計するという1題のみだが

出題は6時間30分をかけて、ひとつの建築物を設計し、その要点を文章化するというものですが、実際は、上記したように様々な知識と技能を問っているわけです。しかし実態として、その様々な知識と技能を細分化して単体で磨くような練習をしていない受験生が多く、またそういう指導を資格学校も取っていません。この試験は、車の運転にも似ています。一旦停止や信号、進入禁止などの標記がある道路を安全運転で目的地まで行くようなイメージです。総体としては、漫然と車を運転して目的地に行くだけなのですが、その間、小さな判断とチェックがひたすらあるわけです。ちょっとしたミスが重大事故につながる可能性もあります。だからといって、6時間30分ずっと緊張状態をキープするのは不可能です。チェックすべきところはチェックし、流してもよいところは流す。その感覚が不可欠です。

最も重要なヒントが、平成27年度製図試験

このように、出題は1題ですが、問われている内容は多岐にわたり、かつ細分化して学習を積み上げていないと、そこが弱点となり、減点が大きくなり不合格になる確率があがってしまうわけです。ではどう学習すべきなのか。答えは、直近の平成27年度設計製図試験にあります。この当日の本試験を、丹念に細分化して分析し、減点法的思考でポイントを押さえつつ、どうセルフイメージで戦えば合格できたのかを再現することです。逆を言うと、丹念に分析せずに、減点法的思考で押さえずに、セルフイメージを形成せずに丸裸で受験した方は、合格する確率を大きく下げて受験したことになるということです。それがあなた自身の受験方法であったとすれば、そのダメだった受験方法を再現し、そして、どうすればよかったのかを再現して克服しておくことが、最も重要な合格のためのヒントであり、道筋であり、答えになります。この詳細については、合格指南一問一答「その20」で再掲します。

③ 自身を知る（現状の把握）

何ができて、何ができないのか、が問題

さて、次は「あなた自身」の問題です。あなたは、この製図試験を細分化した内容について、何ができて、何ができないのか、このことを把握する必要があります。手が遅いのであれば筋力トレーニングを、暗記ができていないのであればひたすら暗記を、すればよいのですが、困ったことに、不合格者の多くは、これがわからないわけです（わからないために不合格になる可能性を高めているとも言えます）。資格学校に行けば、教えてくれる？ それを信じているうちは合格する精度は今以上に上がることはないでしょう。

細分化＋ステップ化による自己分析

製図試験.com では、その前身となっている「学科製図.com」時代から、15年以上にわたって、エスキース手順を細分化してステップ化し、ひとつひとつを学ぶことで、弱点をなくす方法論を積み上げています。そのステップ毎に、何をチェックしなければならないのか、何が問われているのかということは、課題ごとにカスタマイズは必要ですが、その雛形は完成しています。

例えば、自動車で交差点を左折する際は、キープレフト、減速、バックミラー、サイドミラー、目視という単純ではあるけれども、必要不可欠なチェック項目があります。同様に、問題文の「1.敷地及び周辺条件」で読まねばならないことは、何なのか。それを読み込まないどんな危険が待ちかまえているのか、当然、受験生ならご存じですよ。ここがわかってないということであれば、全く何も知らずに受験していたと言うことです。「1.敷地及び周辺条件」で読まねばならないことは、本来イロハのイ、既知の話でなければなりません。

細分化したプロセスを使ってチェックできているのかどうか

製図試験.com では、エスキース帖、構造設備帖、要点帖、鉄腕作図テキスト、パーツ集作成マニュアルを現在鋭意制作中で、これらを俯瞰するとエスキースから作図要点に至るまで、どの部分の知識が足りないのかセルフチェックすることができます。単に「製図試験」ということではなく、それらを細分化し、そのプロセスひとつひとつを検証し、確認し、モノにしていく習熟していくことが不可欠です。

単に課題を解いているだけでは、このプロセスを詰める作業がどうしても甘くなってしまいます。また課題を解くことだけに追われてしまい、穴が空いたまま、本試験を迎えている受験生が多いんです。試験分析をし、自己分析をし、その上で弱点欠点を埋めていく作業が必要なのです。

④ スケジュールを立ててこなす（戦術）

段階的に細部を詰めて弱点をなくす戦い

この試験が減点法的な思考が必要であることを考えると、自己分析において弱点を探し出し、段階的に細部を詰めていくことが合格への王道だということをご理解いただけたと思います。方向性は誰もそう思うはずですが。

しかし、社会人であるあなたには、限られた時間しかありません。この限られた学習時間を効率的に利用するには、学習目標を網羅的に押さえつつ、いかに弱点に絞り込むかということと、スケジュールを含め時間の使い方を改め直すことが重要になります。

合格するための4つの力

製図試験.com では、試験を知り、己を知るということと共に、合格するために4つの力が不可欠であると考えています。それは

- 1) 知識：計画して図面化・文章化するための建築全般の知識。
- 2) 技能：製図試験が実技試験であるため、図面化・文章化という技能が不可欠。
- 3) コツ：試験を知り、己を知ることで、押さえねばならないポイントをつかむことが重要。
- 4) メンタル：日々のトレーニングを支えるメンタルと、本試験当日戦い抜くセルフイメージが必要。

の4点です。つまり、試験を知り、己を知るということを縦軸に、この合格するための4つの力を横軸に捉えることで、合格のために必要な全てが網羅でき、かつ効率的な学習計画が組めると考えています。

製図試験.com 後半戦攻略スケジュール

製図試験.com 後半戦攻略スケジュール

	7月 下旬	8月 初旬	8月 中旬	8月 下旬	9月 上旬	9月 中旬	9月 下旬	10月 上旬	備考
フェーズ	本試験課題分析			課題克服		弱点補強		仕上	
試験スケジュール	◎課題発表				◎学科結果発表				◎本試
後半戦通信添削コース	動画 解説	① 8/1	問題 集巻	② 8/23	③ 9/6	パーツ 集	④ 9/20	模試 10/1	全4課題+模試+問題集巻 +エスキース読本
講習会	説明会	夏期			9月		直前		

合格のための攻略スケジュールは、大きく4つのフェーズに分けて考えています。

本試験課題分析 : 1) 施設見学 2) 基礎知識の習得 3) エスキース手順の把握 4) 3時間作図

本試験課題克服 : 1) 本試験課題の特殊性把握 2) エスキース手順の確立 3) パーツ集の作成

弱点補強 : 1) エスキース手順 2) 3時間作図 3) 1時間要点 4) パーツ集の充実 を含む弱点補強期間

仕上 : 1) 図面縦覧による全体性の把握 2) スケジュール・メンタル・体調管理

⑤ 試験当日最大の力を！（本番対応）

セルフイメージの戦い

専門用語になりますが、あなたが持っている自分自身のメンタルの強さをセルフイメージといいます。あなたがこの製図試験に対して、自信を持って臨んでいるのか、実は自信がなくて臨んでいるのか、その心の持ちよう、メンタルの強さを指します。当然、試験に弱い、本番に弱いと思っている方は、試験に対するセルフイメージが小さく弱く、根拠がなくても本番に強いと思っている方のセルフイメージは大きく強くなります。どれだけ知識と技能があり、努力してきたとしても、試験に対するセルフイメージが小さいと、実力は発揮できず、小さなミスから致命的なミスまでを起こしてしまい、合格におぼつかなくなります。

日頃から鍛えることが肝要

では、このセルフイメージを鍛えるにはどうすべきなのでしょう。原則は、日々是精進、日頃からセルフイメージが強くなり大きいと思うところから始める必要があります。しかし、これは毎日心に言い聞かすだけでは効果はあまりありません。セルフイメージが存在する場所は潜在意識内であり、この潜在意識をコントロールできるようになることが必要だからです。この潜在意識をコントロールできるようになると様々な点で効果があり、市販されているテキスト等でもこの点が力説されています。製図試験.com では、専門家の意見・アドバイスを聞きつつ、ノウハウ化しています。

方法はそれほど難しいモノではありません。

まだ合格していないあなたは、製図試験の合格体験がありません。（当たり前ですが）

そこで、2つのアプローチがあります。

- 1) 既に今まで生きてきて経験している合格体験や成功体験をそのまま持ってきて類推（アナロジー）する。
- 2) 毎回の課題を終えるたびに、しっかり復習し、不明な点を克服して自信につなげる。

この2つです。1) は想像力というかアナロジー力が問われます。このアナロジー力＝類推する力がつくと非常にいろんなことに対して応用が効くので是非製図試験をきっかけにこの力を伸ばしていただきたいと思います。

2) については、できないできるノートを使うこと。課題が終わるたびに反省し、瞑想してイメージとして克服することが重要になります。その方法については、またメール配信「一問一答合格指南」の中（その3）でお伝えしています。

Cf : 製図試験.com 学習教材について

製図試験.com が選ばれる 3つの理由

1) 試験に強くなることをめざした教材群と指導法

合格をめざすということは、試験に強くなることが不可欠です。単に建築計画等を解説したり学習するのではなく、合格にこだわった教材群と指導方法を徹底しています。

2) リーズナブルな価格設定

現在、大手資格学校では、40万円する講座が主流を占めていますが、製図試験.comの通期通信添削コースで86,200円です。どう考えても30万円の差はないのですが、資格学校に行かないと合格できないという呪縛があるようです。さらに最終追い込み段階で、追加費用での対策講座が7-8万円かかることになっていますが、その頃には、資格学校に洗脳されていて受けざるを得ない空気で支払ってしまう方がほとんどです。この商法は消費者センター行きレベルのあくどいやり方だと思います。

このような資格学校のやり方や方法については、1年通えばわかるはずですが。必要なのは、戦略と戦術とそれを継続するメンタルであり、学校ではありません。逆に高額を支払い、日程が縛られないとトレーニングが積めないとお考えの方は、資格学校の選択がベターです。

通信添削コースは、製図試験.comの前身である「学科製図.com」から15年以上続けてきており、延2,500名を超える合格者を輩出してきました。また、製図試験.comの方針は「激励系」であり、単に自主性や参加型の通信添削とは方法が異なります。

3) 講師レベルの知識とコツを伝授

大手資格学校では、残念ながら講師レベルには大きなばらつきがあり、本当に素晴らしい講師から、習うだけムダな講師まで十人十色です。また、ほとんどの講師は、与えられた資料を解説しているだけで、資料そのものを作成する権限が与えられていません。ですから、本当に教えるべきことがわかっていても、なかなかそれをライブ講義では伝えられないのが実状だと思います。

幸い、製図試験.comは小さな組織ですから、主宰者がコツコツ積み上げてきたコツを直接メール配信するため、ほぼ生の声を伝授することが可能です。

資格学校との比較→合格への最適化の検討

比較項目	大手資格学校	製図試験.com	ポイント
モチベーション	×やらされてる感が強い	◎積極的な受講イメージ	モチベーションのコントロールが重要です。
メンタル	×課題量が多く押し入れ気味	◎負けないメンタル形成	負け癖をつけないトレーニングが不可欠です。
教材	○全方位的だが多すぎる量	○必要最小限の知識とコツ	情報過多が混乱を生みます。
日程	△詰め込みすぎ	○自己管理型	日程の管理が非常に重要です。
費用	×高額	◎リーズナブル	明らかに高額すぎると思われます。
総合評価	一度も通ったことがない方 資金と時間がある方 時間管理をしたくない方 圧倒的な量をこなせる方 にはオススメ	まとまった時間の取りにくい方 お金をあまりかけられない方 資格学校の合わない方 効率よく学習したい方 にはオススメ	あなた自身が、どういふスタイルで学習して合格をめざすのか、そのイメージを明快に持つことが全てに於いてのスタートラインとなります。

冒頭でも書きましたが、以下の手順でご検討いただければ、初めての方でも安心かと思えます。

- ①まず7月の説明会もしくはその動画解説を参考にする
- ②よさそうであれば、・オープン課題となる第1課題をDLしてやってみる ・講習会に参加する
- ③通信添削コースに申し込み、ペースメーカー・主教材として利用する

というステップアップが可能です。もちろん、通信添削コースにすぐ申し込んでいただいてもかまいません。

□平成28年度製図試験.com 学習教材一覧 (平成28年7月10日版)

平成28年度製図試験.com 学習教材一覧表		平成28年7月10日現在				
学習教材	内容	申込に○	開始日	価格(税込)	添削生価格	おススメ度
A-メインアイテム: 製図試験.comがおススメする合格のためのコースです。						
A11	後半戦通信添削コース		8-10月	86,400円	-	☆☆☆☆
B-基本テキスト: 合格するための基本知識の全てです。						
B01	基本テキストセット				含む	☆☆☆☆
	B02: エスキース帖		8月	13,500円		☆☆☆☆
	B03: 計画の要点帖		8月	B01セット販売	含む	☆☆☆☆
	B04: 構造・設備帖		8月	B01セット販売	含む	☆☆☆☆
	B05: 鉄筋・作図テキスト		8月	B01セット販売	含む	☆☆☆☆
B06	エスキースアプローチ		既刊	3,780円	含む	☆☆
B07	わかるエスキース		既刊	3,000円	2,200円	☆☆☆☆
B08	わかるエスキース2012		既刊	2,800円	2,000円	☆☆☆☆
B10	エスキースFAQ復刻版		既刊	3,240円	3,000円	☆☆☆☆
B11	エマーゼンシマニチュアル復刻版		既刊	1,800円	1,200円	☆☆☆☆
C-問題集: 問題だけが必要な方のための問題文と解答例のみの問題集						
C11	平成28年度問題集(巻)ー基本ー		8月中旬	5,400円	含む	☆☆☆☆
C12	平成28年度問題集(試)ー実践ー		9月中旬	8,640円	5,500円	☆☆☆☆
D-講習会・模擬試験・スクーリング						
D11	夏期講習会		8月他	19,000円	14,000円	☆☆☆☆
D12	直前講習会		10月	5,000円	3,000円	☆☆☆☆
D20	製図試験.com模試		7月/10月	各10,800円	含む	☆☆☆☆
D30	東京スクーリング		8-10月	参加不可	8,000円/回	☆☆
E-その他						
E01	領収書		通年	0円	0円	
E02	分割支払申込書		通年	-	0円	
E11-	用紙・作図用具他		通年			
FAXでのお申込(020-4665-1911)						
振込先: 有限会社I.L.D.						
ジャパンネット銀行 行すずめ支店(普)3175127						
申込者氏名						
住所						
電話番号						
絶対おススメ☆☆5						
おススメ☆☆4						
マニアック☆☆3						

A-メインアイテム 製図試験.com がおススメする合格のためのコースです。

NO	学習教材名	開始日	価格	添削生価格	おススメ度
A11	後半戦通信添削コース	8/1~10/9	86,400円	-	☆☆☆☆☆
<p><内容> 7月末に課題が発表されて後、8月から始まる平成28年度課題の通信添削コースです。</p> <p><日程・教材> 8月~10月：全4課題+模試1課題（問題文、解答用紙、解説、解答例、メンバーズサイト） C11：平成28年度問題集(巻)－基本－（添削は別途3,000円/課題） B01：基本テキスト サポートはメール・電話とwebサイトでいきます。ブラウザとメールソフトがあれば受講可能です。</p> <p><留意事項> ・先に「B01 基本テキスト」をお申込の方は、その差額（72,900円）となります。 ・通信添削生となると、学習教材や講習会の添削生割引がありますのでご利用ください。 ※通信添削コースにはB01、C11が含まれていますので二重でお申込ならないようご注意ください。</p>					

B-基本テキスト 合格するための基本知識の全てです。

NO	学習教材名	発売予定	価格	添削生価格	おススメ度
B01	基本テキストセット	1-7月	13,500円	含む	☆☆☆☆
<p>B02:エスキース帖、B03:計画の要点帖、B04:構造・設備帖、B05:鉄腕作図テキスト+DVDの4冊をセットにしたのが、この基本テキストセットです。通信添削コースには含まれています。</p>					

NO	学習教材名	発売予定	価格	添削生価格	おススメ度
B02	h28 エスキース帖	4月下旬	セットのみ	含む	☆☆☆☆
<p>エスキース手順の基本を徹底解説します。 お申込の方には、平成28年度本試験課題の分析、エスキース手順も8月中旬に送付します。</p>					

NO	学習教材名	発売予定	価格	添削生価格	おススメ度
B03	計画の要点帖	4月下旬	セットのみ	含む	☆☆☆
<p>計画の要点の基本を徹底解説テキストとしての送付は6月下旬となります。</p>					

NO	学習教材名	発売予定	価格	添削生価格	おススメ度
B04	構造・設備帖	4月下旬	セットのみ	含む	☆☆☆
<p>構造・設備の基本を徹底解説</p>					

NO	学習教材名	発売予定	価格	添削生価格	おススメ度
B05	鉄腕作図テキスト+DVD	1月	3,780円	含む	☆☆☆
<p>作図方法について、テキストとDVDで完全解説。平成18年度からの超ロングセラー</p>					

NO	学芸出版社既刊テキスト（学科製図.com）	価格	添削生価格	
B06	「エスキースアプローチ」（平成 17 年度学芸出版社刊）	3,000 円	2,200 円	
B07	「わかるエスキース」（平成 18 年度学芸出版社刊）	2,800 円	2,000 円	
B08	「わかるエスキース 2012」（平成 24 年度学芸出版社刊）	3,240 円	3,000 円	
学芸出版社刊エスキースシリーズ 3 部作です。 既に 3 冊とも再版はないため、弊社でのストックのみの販売となります。			おすすめ度 ☆☆☆☆	
NO	学芸出版社廃刊テキスト復刻版（学科製図.com）	価格	添削生価格	
B10	「エスキース FAQ」（学芸出版社刊復刻版）	1,800 円	1,200 円	
B11	「エマーゲンシーマニュアル」（学芸出版社刊復刻版）	1,500 円	1,300 円	
学芸出版社から出版していただいたのですが、ストックも終了したため、コピー製本による復刻版となります。			おすすめ度 ☆☆☆	

C-問題集：問題だけが必要な方のため問題文と解答例のみの問題集

NO	学習教材名	発売予定	価格	添削生価格	おすすめ度
C11	平成 28 年度問題集（巻）－基本－	8 月 10 日	5,400 円	含む	☆☆☆☆☆
平成 28 年度課題に対応した問題集 全 4 課題 問題文とフリーハンド解答例のみで要点を省くことでリーズナブルにしました。 1 課題 3,000 円で添削も別途申し込み可能です。 A11：後半戦通信添削コースには、この教材が含まれていますので、二重に申し込まないようにしてください。					

NO	学習教材名	発売予定	価格	添削生価格	おすすめ度
C12	平成 28 年度問題集（巻）－実践－	9 月上旬	8,640 円	5,500 円	☆☆☆☆
平成 28 年度課題に対応した問題集 全 4 課題 問題集（巻）で飽き足りない方のため問題集です。問題文とフリーハンド解答例のみで要点を省くことでリーズナブルにしました。 1 課題 3,000 円で添削も別途申し込み可能です。					

D-講習会・模擬試験・スクーリング

NO	学習教材名	開催日程	価格	添削生価格	おすすめ度
D11	夏期講習会	8-9 月	19,000 円	14,000 円	☆☆☆☆☆
平成 28 年度課題の解説を行い、平成 28 年度版のエスキース指導を行います。東京、大阪、名古屋、札幌、広島、博多等で実施					

NO	学習教材名	開催日程	価格	添削生価格	おすすめ度
D12	直前講習会	10 月	5,000 円	3,000 円	☆☆☆☆☆
試験 1 週間前の直前講習会です。本試験でのポイントを総復習します。東京、大阪、名古屋等で実施					

NO	学習教材名	開催日程	価格	添削生価格	おすすめ度
D20	製図試験.com 模試	7 月/10 月	10,800 円	含む	☆☆☆☆☆
平成 28 年度は、前半戦 7 月 10 日、後半戦 10 月 1 日を予定しています。各通信添削コースには、まとめの模試として含まれています。					

NO	学習教材名	開催日程	価格	添削生価格	おすすめ度
D30	東京スクーリング(16 名限定)	8-10 月	添削生のみ	8,000 円/回	☆☆☆
東京セミナールームで通信添削コースの課題解説会を予定しています。（隔週で 6 回程度を予定しています）					

E-製図用具・その他

NO	書類関連	価格	備考
E01	領収書	0円	領収書が必要な方はお申し込みください。
E02	分割支払申込書	0円	通信添削コースについてのみ分割支払いが可能です。
E03	受講証明書・修了証	500円	通信添削コース、講習会、講座について、発行いたします。

NO	用紙製図用具等	価格	添削生価格	備考
E11	用紙セット 7+7	1,100円	900円	作図用厚紙・エスキース用薄紙各7枚計14枚
E12	エスキース用紙セット 10	700円	600円	エスキース用紙のみ10枚
E13	作図用紙セット 10	1,000円	800円	作図用厚紙のみ10枚
E14	マークシートシャーペンセット	432円	400円	エスキース用として推奨しています。
E15	柱用テンプレート 976-04	864円	800円	ステッドラー社製
E16	フローティングディスク	324円	300円	20コ入り
E17	タイマークロック	1,100円	1,080円	9時間59分59秒まで計測できるタイマークロック

製図試験.com インフォメーション

名称：製図試験.com (<http://seizushiken.com>)

運営：有限会社 I.L.D.

連絡先：〒553-0002 大阪市福島区鷺洲 1-12-24-2F

電話 06-7181-3701 FAX 020-4665-1911

メール：otoiawase@seizushiken.com

銀行：ジャパンネット銀行すずめ支店

(普) 3175127 ユ アイエルディ

郵便振替：00970-2-222802 ユ アイエルディ

関連サイト：FB <http://facebook.com/seizushiken/>

ツイッター <http://twitter.com/seizushiken/>

製図試験 .com 事務局

〒553-0002

大阪市福島区鷺洲 1-12-24 イーグレット 2F



地下鉄千日前線野田阪神駅 4番出口
阪神電鉄本線野田駅から東へ徒歩 3分

主宰：山口 達也 (ハンドルネーム：曾根 徹)

1962年11月26日生

大阪工業大学建築学科都市計画研究室

神戸大学環境計画学専攻、工学修士 (早川和男研究室)

阪神電鉄就職後、レンゾピアノビルディングワークショップに転職。

都市計画コンサルタント、経営コンサルタント、CM会社等を経て、

有限会社 I.L.D. を設立。セルフビルディング中心に設計活動の傍ら、

2000年に「学科製図.com」を設立。

15年間で2,000名以上の一級建築士を輩出。

2015年コンテンツをまとめたおし、製図試験.com を立ち上げ。

一級建築士設計製図試験だけに特化したしくみを開始。

このマニュアルは 2016/6/17 現在のものです。

コンテンツの無断利用は固く禁じます。

Copyright © 製図試験.com All rights reserved.

